2009社会人計算技能コンテスト開催要項

～ 魅 せ ろ ！ 大 人 の 脳 力 戦 ～

日 本 珠 算 連 盟

開催趣旨

情報・通信技術の進歩は、私たちの生活に深く浸透し、多大な恩恵をもたらしてくれています。ビジネス現場においても今やコンピュータは不可欠なものとなっています。

しかし、企業の様々な場面で「計算技能」は求められます。「計算技能」は、ビジネスを進める上で極めて重要なスキルであり、様々な場面で相応の「計算力」が求められています。

日本珠算連盟では、平成19年に、社会人の「計算技能」の向上のため、計算機器（そろばん・電卓・パソコン等）を用いた「社会人計算技能コンテスト」を開催し、今年も開催することとなりました。

つきましては、本コンテストを通じ、「計算技能」を磨き、さらに進歩向上させ、企業実務に大いに活用できるよう切に念願するとともに、関係各位の絶大なるご協力ご支援をお願いする次第であります。

１．主　　催　日本珠算連盟

２．後　　援　日本商工会議所・大阪商工会議所・日本数学協会

３．協力･協賛　社団法人大阪珠算協会・株式会社ニコリ・社団法人小豆島観光協会
(申請予定）株式会社フォーウィンズ・株式会社朝日プリント社

４．開催日時　平成21年10月10日(土)　13:00～18:00　(開場12:30)
（13:00 競技、16:30 表彰・情報交歓会）

５．会　　場　ＯＲＣ２００ オーク広場（アトリウム）　大阪市港区弁天１丁目
JR環状線・弁天町駅北口から連絡通路でオーク２００、２階に直結

６．参加資格　社会人（高校・専門学校・大学等を卒業・修了した者）

７．参 加 料　１名につき￥５,０００（但し、情報交歓会を含む）

８．申込方法　参加希望者は、次項「９.個人情報の第三者への提供」に同意のうえ別紙申込書により、**８月３１日（月）**までに、本連盟事務局（〒101-0047 東京都千代田区内神田1-17-9　日本珠算連盟）に送付する。参加料については、次の口座に振り込むこと。※60名になり次第（先着順）
振込先（郵便局）
加入者名：日本珠算連盟　口座番号：00170-2-16219

９．個人情報の第三者への提供

本コンテスト参加者については、コンテスト施行において所属組織（会社等）の名称、個人名、年齢等の連絡先情報についてコンテスト参加者を「成績一覧表」として関係者等へ配布するほか、成績優秀者には、ＷＥＢページをはじめ「日本珠算」等各種機関誌（紙）への掲載を通じて第三者に提供することがあります。

10. 競技種目

① **四則計算競技**　（問題はスクリーン表示）
② **伝票算競技**
③ **計算力・思考力計算競技**（日本商工会議所：計算力思考力検定に準ずる）
④ **数独競技**　「数独(SUDOKU)はニコリの登録商標」
⑤ **読み上げ算競技**
※ 特別競技（フラッシュ暗算）

11. 競技内容と方法

５種目の競技 **(1)四則計算競技 (2)伝票算競技 (3)計算力・思考力計算競技 (4)数独競技 (5)読み上げ算競技** で予選を行い、次に、競技部門毎に８名以内で決勝戦を行い、１位に５点、２位に４点、３位に３点、４位に２点、５位以下には１点の勝ち点を与え、同順位は同じ勝ち点とします。５種目の勝ち点合計により「社会人計算技能チャンピオン」を決します。ただし、勝ち点合計が同点の場合は、勝ち点が高点の者を、勝ち点も同点の場合は、抽選で選択した種目により勝者を決定します。

なお、計算機器（そろばん・電卓・パソコン等）は自由とします。ただし、上記種目（3）、（4）については、計算機器を使用してはならない。

(1) 四則計算競技（別添例示）

スクリーンに表示された、加減算１題・かけ算１題・わり算１題（余り切り捨て）を計算しその答の合計を記入する。（合計欄を審査の対象とする）

① 予　選

上記問題を３問題行い、２問題以上の正答者を予選通過者とする。
なお、制限時間は１問題 30 秒とする。

② 準決勝

予選通過者により、１問題ごとに競技を行い、決勝出場者８名以内を決定する。
なお、制限時間はその都度決定する。（計算時間により決勝出場者を決めることもある）

③ 決　勝

決勝出場者により、１問題で競技を行い計算終了と同時に判定機にタッチし、正答者のうち計算時間により「最優秀者」および「勝ち点」を決めます。
なお、制限時間は 20 秒とする。

(2) 伝票算競技（別添例示）

納品伝票（１頁５商品以内）の商品別または納品伝票合計を求める。

① 予　選

上記問題を３問題行い、２問題以上の正答者を予選通過者とする。
なお、制限時間は２分とする。

② 準決勝

予選通過者により、１問題ごとに競技を行い、決勝出場者８名以内を決定する。
なお、制限時間はその都度決定する。（計算時間により決勝出場者を決めることもある）

③ 決　勝

決勝出場者により、１問題で競技を行い、計算終了と同時に判定機にタッチし、
正答者のうち計算時間により「最優秀者」および「勝ち点」を決めます。
なお、制限時間は 30 秒とする。

(3) 計算力・思考力計算競技（別添例示）

計算力・思考力検定に準ずる 20 問題を行う。（1 題 5 点 100 点満点）

① 予　選

上記問題により、80 点以上の者を予選通過者とする。
なお、制限時間は３分とする。

② 準決勝

予選通過者により、上記問題で競技を行い、決勝出場者８名以内を決定する。
なお、制限時間はその都度決定する。（計算時間により決勝出場者を決めることもある）

③ 決　勝

決勝出場者により競技を行い、計算終了と同時に判定機にタッチし、正答者のうち計算時間により「最優秀者」および「勝ち点」を決めます。
なお、制限時間は２分とする。

(4) 数独競技（別添例示）

問題は、タテ９列、ヨコ９列のそれぞれの空いているマスに、１から９までの数字を入れる。また、太線で囲まれた３×３のブロックのどれにも、１から９までの数字を入れる。

決められた時間内で解けた「数独」の数あるいは解く時間で争う。ただし、制限時間内にだれも完答できなかった場合は、途中の数字の個数の多い順に決めます。

① 予　選

数独が３題出題され、完答した問題の多い者から順に決勝出場者８名以内を決定するが、完答した問題数が同じ場合は、解いている問題に書き込んである数字の個数（以下、途中の数字）が多い人が上位となる。なお、制限時間は 10 分とする。なお、制限時間内で３題完答者が８名を超えた場合は、準決勝を行う。

② 準決勝

予選通過者により、数独１題を解いて、完答と同時に挙手し、決勝計算時間により決勝出場者８名以内を決定する。なお、制限時間は５分とする。

③ 決　勝

決勝出場者により、数独１題を解いて、完答と同時に判定機にタッチし、計算時間により「最優秀者」および「勝ち点」を決めます。なお、制限時間は５分とする。

(5) 読み上げ算競技（別添例示）

演技者が、加算または加減算の数を読み上げそれを聞き取り計算する。なお、問題の数字については「０」を使用しません。また、引き算は連続しません。

① 予　選

５口の問題を３問題（５桁加算、６桁加減算、７桁加算）読み上げ、２問題以上の正答者を予選通過者とします。

② 準決勝

予選通過者により、１問題ごとに競技を行い、決勝出場者８名以内を決定する。
（問題の程度は 11 桁以内の加算及び加減算、１問題 10 口）

③ 決　勝

決勝出場者により１問題ごとに競技を行い、「最優秀者」および「勝ち点」を決めます。
（問題の程度は 11 桁以内の加算及び加減算、１題 10 口）

12. 表　　彰

(1) 社会人計算技能チャンピオンおよび準チャンピオン

「**社会人計算技能チャンピオン**」の称号を与え、賞状並びに杯・副賞を授与します。
「**社会人計算技能準チャンピオン**」に賞状並びに杯・副賞を授与します。

(2) 各種目最優秀者および優秀賞

各種目の最優秀者には、「**最優秀賞**」として賞状・楯・副賞を授与します。
決勝戦進出者に対しては、**「優秀賞」**として賞状並びに副賞を授与します

13. そ の 他

(1) 表彰は情報交歓会において行います。
(2) パソコンの使用についてＡＣ電源の準備はしていません。（ＡＣ電源使用不可）
(3) 本要項・申込書ならびに「問題例」については、日本珠算連盟ＨＰより、ダウンロードできます。
(4) 進行予定

１３：００	開会		
１０	競技開始		
１０	①	四則計算	予選・準決勝・決勝
４０	②	伝票算競技	予選・準決勝・決勝
１４：１０	③	計算力・思考力競技	予選・準決勝・決勝
１４：４０	④	数独競技	予選・準決勝・決勝
１５：２０	⑤	読み上げ算競技	予選・準決勝・決勝
		特別競技（フラッシュ暗算）	
１６：００	競技終了　（移動）		
１６：３０	表彰・情報交換会		
１８：００	終了		